

2009「植村直己冒険賞」 受賞者が決まる

出会いと発見を求め
自転車で地球2周
15万kmの冒険

中西大輔さん



▲スーダンの砂漠で自転車を押しながら前進する中西大輔さん(2007年)

2月12日、植村直己さんの母校の明治大学紫紺館(東京都千代田区)で、2009「植村直己冒険賞」受賞者発表の会見を行いました。今回は、2009年に日本人が挑んだ194件の冒険行の中から、自転車で11年かけて地球を2周したサイクリストの中西大輔さん(39歳、川西市在住)を選びました。

中西さんは、小さいころからの夢「六大陸走破、自転車世界一周」の実現に向け、今から11年半前、未知の世界を求め、日本を飛び出し、世界各地の自然の厳しさに挑み、自転車をこぎ続けました。そして、行く先々で出会った人々の温かい支えを胸に訪れた国は130カ国、距離約15万2千kmを走破しました。訪問国では、自転車を通じた平和交流を行い、その状況を日本の自転車仲間に報告するなど、国際交流の橋渡しもしています。

東京での会見の様子は、植村直己さんの母校の府中小学校(日高町野々庄)にも中継され、中西さんは「尊敬する植村直己さんの素晴らしい賞をいただき、深く感謝しています。また、11年間支えてくれた日本の友人・知人、そして旅先で出会った世界中の友人に感謝しています。この旅は、私の人生においてとても大切なもので、喜びにあふれています。これからも多くの方々にも冒険にチャレンジしていただきたいと思います」と喜びの言葉を述べました。

なお、本賞の授賞式は、6月5日(土)に日高文化体育館(日高町祢布)で行います。冒険賞の授与のほか、中西さんの講演も行う予定ですので、皆さん、楽しみにお待ちください。

《問合せ》植村直己冒険館 ☎44-1515



▲パキスタン(2008年)



▲東京会場の発表の様子を見守る府中小学校6年生の児童と関係者ら



▲「冒険賞」を受賞し、喜びを語る受賞者の中西さん



▲11年間の軌跡〔平成10年(1998年)7月23日～平成21年(2009年)10月11日〕



▲マリ(2000年)



▲シリア(2007年)



▲モーリタニア(2000年)

小さいころの
何気ない夢を実現

中西さんは、小さいころからサイクリングが好きだった父の影響を受け、自転車ですることに興味を持ち、夢は「六大陸走破、自転車世界一周」に膨らみました。

大学時代に海外ツーリングをしたことで、もっと素晴らしい世界を見たい、もっと素晴らしい人と出会いたいと考えるようになりました。

大学卒業後、6年間で資金を貯め、夢実現の旅に出発。当初は、3年半をかけ約60カ国を回る計画でした。しかし、見知らぬ土地、見知らぬ世界、見知らぬ生き物たち、そして



▲ヨルダン(2007年)

行く先々で巡り会える人々の心の触れ合いを求め、ペダルをこぎ続けた結果、いつの間にか11年が過ぎ、地球を2周していました。

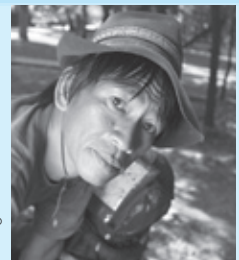


▲イエメン(2008年)

未知の世界を切り拓くとともに、人々に夢と希望、そして勇気を与えてくれる中西さんの行動は、植村直己さんに通じるものがありました。

中西大輔さんプロフィール

- ・1970年、兵庫県生まれ(川西市在住)
- ・小学4年生で初めて自転車に乗る。
- ・中学生時代、父の影響を受けサイクリングで遠出するようになる。
- ・大学時代、サイクリング部に入部。日本各地や海外20カ国をツーリング
- ・大学卒業後、6年間資金調達のため就職
- ・1998年7月23日、世界一周に出発
- ・2009年10月11日、冒険を終える。訪問国130カ国、走行距離15万1,849km
- ※JACC日本アドベンチャーサイクリストクラブ所属



中西大輔さん

◇賞歴

バスニア名誉市民賞(ボリビア、2004年)、カハマルカ州名誉州民賞(ペルー、2004年)、第4回「地球体験ペダリアン大賞」(日本アドベンチャー・サイクリストクラブ、2009年)

◇中西大輔ホームページ <http://www.daisukebike.be>